

試合番号 : 353		試合会場 : 福岡市民体育館				観客数 : 1,000					
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:17		試合時間 : 01:17		主審 : 小野 将人					
副審 : 林 淳一		久光スプリングス		NECレッドロケッツ		通算 8勝 2敗					
通算 5勝 6敗		ポイント : 17		16 第1セット 25		ポイント : 24					
監督コメント	昨日の敗戦から切り替え、何としても落とせない戦であったが悔しい結果となってしまった。相手のサーブに崩され、終始苦しい展開となり、自分たちのリズムでプレーさせてもらえなかった。1レグが終了し、2レグに向けて課題を修正し、1つ1つクリアしていきたい。本日も会場などでご声援いただきましたサポーターの皆様、ありがとうございました。		0	13 第2セット 25		3	監督コメント	1週間この試合のことを考え練習してきました。先週の反省として自分たちの力を出しきれなかったという課題があったので、どのような状況であれ力を出しきって戦うことを選手には常に伝えてきました。今日の試合では取り組むサーブとオフェンスが機能し、自分たちのやってきたことを全てぶつけることができました。来週の試合に向けて今日の勢いを大切に、また準備していきたいと思えます。福岡でのアウェイゲームでしたが、たくさんの応援ありがとうございました。来週も熱い応援をよろしくお願います。			
	昨日の敗戦から気持ちを切り替え、今日の試合に勝利し流れを取り戻したいホームチームの6位久光スプリングスと3位NECレッドロケッツの一戦。山内のアタックによるNECの得点で幕を開けた第1セット、NECの山田・山内の効果的なサーブで崩し、また、ブロッカーに的を絞らせない山内・ネリマン・島村の攻撃で一気に10-1とリードを広げる展開となった。その後も着実に得点を重ねたNECがこのセットを先取した。試合の流れを掴んだNECは、続く第2セットも、山内の2本のサーブサービスエースを含む効果的なサーブでリードを広げる展開となった。流れを変えたい久光は中盤から長岡を投入するも、NECは島村の速攻や古賀・ネリマンの攻撃でリードを保ったままセットを連取した。完全にゲームを支配したNECは、自チームのサーブ時にも、確実なディフェンスからネリマン、古賀、島村の攻撃でブレイクを重ね、粘る久光を振り切ってストレートで勝利した。サーブレシーブを崩され自分たちの攻撃ができない久光に対して、終始安定したサーブレシーブから自分たちのリズムで攻撃を続けることができたNEC。サーブレシーブの良否が勝敗を分けた試合であった。										
	22 第1セット 25			トヨタ車体クインシース				通算 3勝 6敗			
	通算 1勝 8敗			ポイント : 4				25 第2セット 16		ポイント : 9	
	監督コメント	本日のホームゲームも、たくさんの方に応援していただきありがとうございます。選手たちはよく頑張ってくれたと思います。25点を取るまで、3セット取り切るまで、自分たちが貪欲にポイントをとりに行く姿勢を出し続けることが今のチームに一番足りない部分だと思います。良いゲームだけでなく勝つゲームが出来るよう来週に向けて準備していきます。ホームゲーム2日間、応援してくださいファン皆さま、スポンサーの皆さま本当にありがとうございました。		2	26 第3セット 24			3	監督コメント	2日間に渡り、ヴィクトリーナ姫路のホームゲームを戦った事を嬉しく思います。会場設営やイベントなど多くの方々の準備と努力に敬意を表します。昨日第2試合の敗戦から、本日第1試合までに気力や体力を回復させられるかという試練の中、選手は最後まで諦めずに厳しい局面を耐えて乗り越えることが出来ました。オポジットが機能しない中で劣勢をしのいだ事が、藪田、嶋原、安井の経験や成長につながると思えます。途中出場の山形は派手なプレーはしないものの、プレッシャーに強く、普段のハードワークの積み重ねで危機でも力を発揮してくれました。2日間の応援に感謝してさらに強くなっていきます。どうもありがとうございます。	
24 第4セット 26		第1セット 25			22 第1セット 22		KUROBEアクアフェアリーズ				
12 第5セット 15		25 第2セット 25			通算 3勝 6敗		ポイント : 7				
25 第3セット 14		25 第4セット 15			1		監督コメント				
25 第5セット		2連勝を目指し、現在全勝でトップグループを走る東レアローズに臨んだゲームでした。第1セットからクランを中心に高さでパワーのある攻撃に対応が出来ず、リズムを作ることが出来ませんでした。第2セットは取ったものの第3、4セットはレセプションとディフェンスの乱れもあり、一方的な展開となってしまいました。今日のゲームの反省点を修正し来週に備えたいと思えます。今後ともご声援よろしくお願います。									
要約レポート		第1セット、ヴィクトリーナ姫路は松本のサーブサービスエースで勢いに乗るが、トヨタ車体クインシースは切れ味あるソロカイテのライト攻撃から徐々に流れを掴み25-22で先取した。第2セット、姫路は金形のバックアタック、長野のブロックなどで得点を重ねる。トヨタ車体はセッターにグーパートを投入し流れを変えようとするが、姫路の勢いが勝り25-16で姫路が取り、試合を振り出しに戻した。第3セット、姫路は田中の好レシーブから得点しリードする。トヨタ車体も藪田の強打や荒木のベテランらしい軟攻と高いブロックでポイントを重ねデュースに持ち込むが、姫路が接戦を制し26-24で取った。第4セット、トヨタ車体が追いかける展開で、中盤から山形のブロックで追いつく。その後両者譲らぬ戦いとなるが、最後はトヨタ車体・渡邊のサーブサービスエースが決まり、セットカウントを2-2とした。最終セット、トヨタ車体・渡邊がブロック、フェイントを決め、リズムに乗る。姫路は必死に追いつけるが最後は力つき、トヨタ車体が15-12で取り、セットカウント3-2で熱戦をものにした。									
試合番号 : 354		試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイング体育館 (姫路市立中央体育館)				観客数 : 782					
開始時間 : 13:05		終了時間 : 15:32		試合時間 : 02:27		主審 : 北村 友香					
副審 : 富田 博一		ヴィクトリーナ姫路		トヨタ車体クインシース		通算 3勝 6敗					
通算 1勝 8敗		ポイント : 4		22 第1セット 25		ポイント : 9					
監督コメント	本日のホームゲームも、たくさんの方に応援していただきありがとうございます。選手たちはよく頑張ってくれたと思います。25点を取るまで、3セット取り切るまで、自分たちが貪欲にポイントをとりに行く姿勢を出し続けることが今のチームに一番足りない部分だと思います。良いゲームだけでなく勝つゲームが出来るよう来週に向けて準備していきます。ホームゲーム2日間、応援してくださいファン皆さま、スポンサーの皆さま本当にありがとうございました。		2	26 第3セット 24		3	監督コメント	2日間に渡り、ヴィクトリーナ姫路のホームゲームを戦った事を嬉しく思います。会場設営やイベントなど多くの方々の準備と努力に敬意を表します。昨日第2試合の敗戦から、本日第1試合までに気力や体力を回復させられるかという試練の中、選手は最後まで諦めずに厳しい局面を耐えて乗り越えることが出来ました。オポジットが機能しない中で劣勢をしのいだ事が、藪田、嶋原、安井の経験や成長につながると思えます。途中出場の山形は派手なプレーはしないものの、プレッシャーに強く、普段のハードワークの積み重ねで危機でも力を発揮してくれました。2日間の応援に感謝してさらに強くなっていきます。どうもありがとうございます。			
	24 第4セット 26			25 第2セット 25				25 第3セット 14		25 第4セット 15	
	12 第5セット 15			25 第5セット				25 第5セット		25 第5セット	
	25 第3セット 14			25 第4セット 15				25 第5セット		25 第5セット	
	25 第5セット			25 第5セット				25 第5セット		25 第5セット	
要約レポート		昨日の勝利に続き連勝したい、東レアローズとKUROBEアクアフェアリーズの対戦。第1セット、KUROBEは間橋、舛田、高い打点のリーのスパイク、東レはクラン、石川のスパイクで互いに終盤まで譲らない展開を繰り返した。東レは終盤投入したセッター白井が流れを変え、強烈なスパイクが決まりセットを先取した。第2セット、序盤からスパイクの打ち合いとなり終盤までもつれる展開となったが、KUROBEはセッター小西の安定したトス回しから攻撃し、このセットを奪い返した。第3セット、KUROBEは細沼や杉原の攻撃でリズムを作るが、東レの黒後の強気なスパイクや井上のフェイントで徐々に引き離し、セットを取り返した。第4セット、KUROBEは粘りを見せたが、東レは大野のリードブロックと速攻が決まり、常に主導権を握ったまま、このセットを取り勝利した。									
試合番号 : 355		試合会場 : ヴィクトリーナ・ウイング体育館 (姫路市立中央体育館)				観客数 : 446					
開始時間 : 16:20		終了時間 : 18:00		試合時間 : 01:40		主審 : 千代延 靖夫					
副審 : 内藤 聡美		東レアローズ		KUROBEアクアフェアリーズ		通算 3勝 6敗					
通算 9勝 0敗		ポイント : 25		25 第1セット 22		ポイント : 7					
監督コメント	今日の試合は攻撃面をなかなか機能させることが出来ず、相手の粘り強い守備に対して苦しい展開となりました。後半はサーブをしっかりと攻めて得点を重ねることが出来ましたが、全体としては課題の残る内容となりました。また次回に向けて全員でしっかり準備をして臨みたいと思えます。本日もたくさんの応援を頂き、ありがとうございました。		3	21 第2セット 25		1	監督コメント	2連勝を目指し、現在全勝でトップグループを走る東レアローズに臨んだゲームでした。第1セットからクランを中心に高さでパワーのある攻撃に対応が出来ず、リズムを作ることが出来ませんでした。第2セットは取ったものの第3、4セットはレセプションとディフェンスの乱れもあり、一方的な展開となってしまいました。今日のゲームの反省点を修正し来週に備えたいと思えます。今後ともご声援よろしくお願います。			
	25 第3セット 14			25 第4セット 15				25 第5セット		25 第5セット	
	25 第5セット			25 第5セット				25 第5セット		25 第5セット	
	25 第5セット			25 第5セット				25 第5セット		25 第5セット	
	25 第5セット			25 第5セット				25 第5セット		25 第5セット	
要約レポート		昨日の勝利に続き連勝したい、東レアローズとKUROBEアクアフェアリーズの対戦。第1セット、KUROBEは間橋、舛田、高い打点のリーのスパイク、東レはクラン、石川のスパイクで互いに終盤まで譲らない展開を繰り返した。東レは終盤投入したセッター白井が流れを変え、強烈なスパイクが決まりセットを先取した。第2セット、序盤からスパイクの打ち合いとなり終盤までもつれる展開となったが、KUROBEはセッター小西の安定したトス回しから攻撃し、このセットを奪い返した。第3セット、KUROBEは細沼や杉原の攻撃でリズムを作るが、東レの黒後の強気なスパイクや井上のフェイントで徐々に引き離し、セットを取り返した。第4セット、KUROBEは粘りを見せたが、東レは大野のリードブロックと速攻が決まり、常に主導権を握ったまま、このセットを取り勝利した。									
試合番号 : 356		試合会場 : E・プラザいしかわ				観客数 : 0					
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:06		試合時間 : 02:06		主審 : 浅井 唯由					
副審 : 原 啓之		PFUブルーキャッツ		埼玉上尾メディックス		通算 5勝 5敗					
通算 0勝 9敗		ポイント : 1		32 第1セット 34		ポイント : 16					
監督コメント	2セット目の終盤、自分達のミスから失点し、セットを落としてしまったところに課題が残ると思う。自分達で得点をとっていかなければならないので相手のミスからではなく、自分達で得点していくようにしていきたい。本日も応援ありがとうございました。		1	21 第2セット 25		3	監督コメント	様々な戦術、選手起用を行ってくる相手に対して、苦しい試合展開を予想して試合に臨みましたが、勝利する事ができ、今シーズン初の連勝できたことを嬉しく思います。本日は、ミドル中心にオフェンスを組み立てる事をゲームプランの1つとして試合に臨み、苦しい時間帯もあったが、セッター、ミドルがしっかり応えてくれた事が勝因です。今後のミドルの更なるオフェンス力に期待したい。来週は、1レグ最終戦を迎えます。連勝の勢いをそのままに2レグにつながるように良い準備をしていきます。引き続き応援よろしくお願います。			
	25 第3セット 23			25 第4セット 25				25 第5セット		25 第5セット	
	25 第5セット			25 第5セット				25 第5セット		25 第5セット	
	25 第5セット			25 第5セット				25 第5セット		25 第5セット	
	25 第5セット			25 第5セット				25 第5セット		25 第5セット	
要約レポート		今日、勝星の無いPFUブルーキャッツと4勝5敗で7位の埼玉上尾メディックスの対戦。第1セットは、埼玉上尾・吉野、内瀬戸、青柳のアタック、PFU津賀、石川、アコスタのアタックで競り合いデュースにもつれ込む接戦となる。最後は青柳のブロック、吉野のアタックが決まり埼玉上尾がセットを先取した。第2セットも終盤まで一進一退の展開となるが、PFUのミスに乗じた埼玉上尾がセットを連取した。第3セットに入ってもPFU堀口のアタック、サービスエースやアコスタのアタック、埼玉上尾のサンティアゴ、ジョセフ、吉野のアタックで競り合うが、最後はアコスタの連打でPFUがセットを取り返した。第4セットは吉野、内瀬戸、青柳のアタックで埼玉上尾が一時的にリード、PFUも堀口、アコスタのアタックで応戦するが差を詰めることができず、埼玉上尾がこの試合を制した。									